

国労

蘇我運輸区分会ニュース

第3回執行委員会②

2月9日（水）13時～コミュニ大広間



た7分！勿論、その後に質疑応答のような形でディスカッションしていくのですが、説明の

住民の足を守る県集會について

各系統職場で抱えている問題点を地本全体で共有していき、他系統の人にも問題意識を持ってもらう・・・そういった目的で計画された今月6日に開催予定だった同集会ですが、コロナ禍の影響で延期となりました。

結構、むずかしい？

一昨年10月、初めての試みで、当分会と新浦安分会の交流会があり、お互いに色々な資料を用意して臨んだ経緯がありました。その辺を参考にしたいと考えていたのですが、今回各職場に与えられた時間は、た

時間が7分では、たくさんあるネタの中から何を運び、どう説明していくのか・・・結構頭を悩ませる話であります。

地本から「食う・寝る・トイレ」に関するものはどうかと提案を受け、それぞれの生理現象がキツイ行路をいくつかピックアップし、どうやって説明を加えていくか・・・少しづつ詰めていこうとなりました。

保線職場からの

報告文に関して

ここから話が脱線してしましますが、先月の

打ち合わせの際、保線職場から「保線の仕事」というこの県集會用の資料が配られました。

現場社員の目と耳、経験だけが頼りであった仕事が、数値によるデータ管理等々、機会任せで様々な問題点も発生し、ベテラン社員がいなくなる中、技術継承が出来ないという切実な問題も訴えられています。非常に簡潔に分かり易くまとめられており、参考にしたいと思えました。

これを会議内で紹介したところ「数年前、蘇我駅構内の線路のポルトが1本欠損しているのを見つけ、関係箇所連絡したら、欠損も3本までは大丈夫との返答



を受け、首をかきげた」旨の報告がありました。保線職場で、そういったルール？になっ

たルール？になっただけで説明があれば他系統とはいえ、疑問には思いつつも、それで終わりますが、これが欠損を見つけ、通報したのが一般の人だったら、同じ

返答をしたのでしょうか。それで納得させられるのでしょうか。普通の人の常識では、1本でもすぐに直すべきところがあります。ある意味、すごい恐い話だなあ・・・と話し合いました。

社員代表選挙は、労組から立候補の平一貴士さんを応援しています。

を応援しています。